

ROU  KEN

## ペチュニア Petunia

ペチュニアは、ナス科の多年草で、花期は3月～11月。寄せ植えの素材やコンテナ栽培としてとても人気のある草花です。アサガオに似たひらひらした透けるような花びらを持ち、夏場の長期間咲かせます。ペチュニアは色幅も豊富で、多花性。一重咲きや八重咲きなど咲き方も様々あり、花の大きさも大輪から小輪とあります。品種数も数百品種あるとのことで毎年新品種が発売されています。

ペチュニアは多年草ですが、寒さに弱いため日本では一年草扱いとなります。日本には「ツクバネアサガオ」という名前で伝わってきましたが、日本の気候に合うよう品種改良した「サフィニア」によって人気となり、品種改良の競争の激しい植物の1つです。

ペチュニアという名はブラジル先住民のPetun(たばこ)が語源になっています。たばこの花に似ているからであると言われていました。

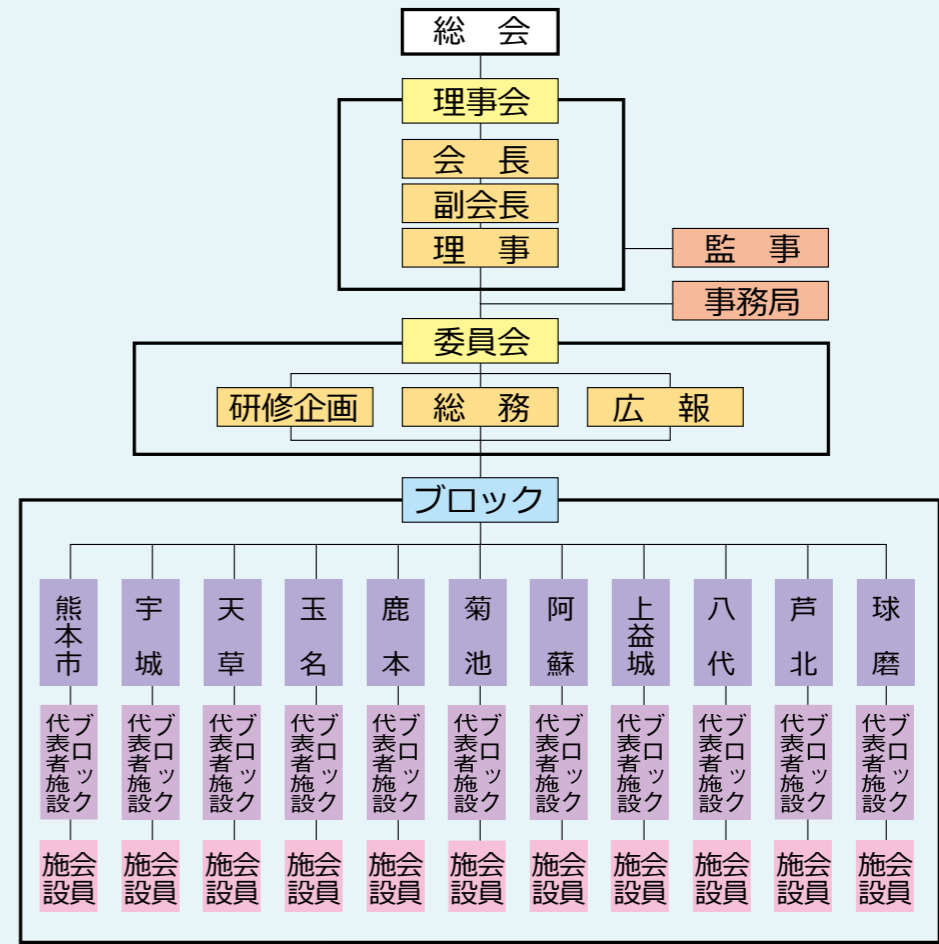


サフィニア

色とりどりのペチュニア・サフィニアは私たちに元気を与えてくれます。花言葉には、『あなたと一緒に心が和らぐ』『心のやすらぎ』『心がなごむ』などがあります。

## 一般社団法人 熊本県老人保健施設協会

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図



総会 通常総会年1回6月に開催、臨時総会は必要に応じて開催。  
 理事会 通常理事会(年2回の開催、6月、3月)  
 臨時理事会(必要に応じて開催する。)  
 委員会 ●総務委員会 理事会の指示のもとに会務全般の庶務を行う。具体的には事業計画の立案、実施状況の把握、老健運営上の課題の整理、県担当部局との調整など。  
 ●研修企画委員会 年間を通しての研修の企画、講師の選定、研修の運営、研修の評価等。  
 ●広報委員会 広報誌の発行、ホームページの作成、会員への情報伝達方法の検討。  
 各ブロック 地域振興局単位で意見の集約を図り、老人保健施設の立場から地域の活動に協力していくために、熊本市及び地域振興局単位でブロックを編成する。施設間、職種間での意見の交換を行い、課題の整理と活動を行うこととする。

地域包括ケアシステムの中で老健はどのように向き合うか？

一般社団法人熊本県老人保健施設協会 理事 末藤 榮一



2019年5月から新しい年号となり、1年後には東京オリンピックが開催されます。日本経済は目標の成長率2パーセントには届かないものの、オリンピック対策で活力が出てくるものと思われれます。そして、人生百歳時代ということが国民の意識の中に定着し、人々の生き方に変化が起こってまいります。それは家族愛の欠如現象です。日本人は古来、お年寄りを人生の先輩として尊敬するという習慣があったのが、残念ながら段々と薄くなり、特に健康に問題があるお年よりは要らない者であるという考えが芽生えてきています。厚労省はその気運を察知し、70歳以上の老人医療は不要という考えが少しずつですがスタートしてきます。そして、家族の中にもお年よりがリハビリを行って回復することを望む温かい心を持つ家族が少なくなってきたように感じます。

2019年5月から新しい年号となり、1年後には東京オリンピックが開催されます。日本経済は目標の成長率2パーセントには届かないものの、オリンピック対策で活力が出てくるものと思われれます。そして、人生百歳時代ということが国民の意識の中に定着し、人々の生き方に変化が起こってまいります。それは家族愛の欠如現象です。日本人は古来、お年寄りを人生の先輩として尊敬するという習慣があったのが、残念ながら段々と薄くなり、特に健康に問題があるお年よりは要らない者であるという考えが芽生えてきています。厚労省はその気運を察知し、70歳以上の老人医療は不要という考えが少しずつですがスタートしてきます。そして、家族の中にもお年よりがリハビリを行って回復することを望む温かい心を持つ家族が少なくなってきたように感じます。

私は、老健の将来像、その位置付けに心を持って二つの会議に出席しています。そこで感じることは、残念ながら、昨年の医療介護同時改定でも、老健はまたもや国のご都合主義の餌食にされていると思わざるを得ません。老健の誕生は、老人医療費の増大抑制の翼を担うものとしてスタートしているのですが、今回の改定で病院からの流れの一部はストップされました。そのために、老健はガラガラとのレポートがみられています。代わって今後、介護医療院制度がスタートしますとそれなりに制限された報酬での運営が求められ、想像以上に困難だと思われれます。その点、老健は多くの専門職の集団です。今からの超高齢化社会に最も必要な道具立てをもっているのは老健です。地域包括ケアシステムの中心的存在であらねばなりません。今は老健の冬の時代です。私ども各々の施設は、設立時の理念をもって、職員と共に運営を進めることが必要です。

目次

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図・目次 .....2  
 地域包括ケアシステムの中で老健はどのように向き合うか？ 理事 末藤榮一 .....3  
 大会報告 平成30年度熊本県老人保健施設大会 開催 .....4~5  
 大会報告 熊本県介護保険施設連絡協議会研究大会 開催 .....6~7  
 研修会報告 平成30年度熊本県老人保健施設協会職員基礎研修会 .....8~9  
 熊本県老人保健施設協会会員施設 .....10~11  
 平成30年度表彰受賞者ごあいさつ .....12  
 施設紹介 .....13~15  
 原稿募集・編集後記 .....16

# 平成三十一年度「熊本県老人保健施設大会」開催

平成31年2月19日(火)、「平成30年度熊本県老人保健施設大会」が、県下各施設より159名の参加のもとホテル熊本テールにて開催されました。演題発表・特別講演・公開講座と盛会の大会となりました。大会にあたり山田和彦会長の開会挨拶と来賓の挨拶の後、熊本県老人保健施設協会会長表彰8名への授与式が行われました。



## 特別講演

全国老人保健施設協会の本間達也副会長を迎え、「介護人材(外国人労働者)確保について」と題した講演をいただきました。

入国管理法の改正により、深刻な介護人材不足への対応のために今後外国人労働者の受け入れが増えることが予想されるが、特に「技能実習生を受入れた場合には、日本語教育のコストが予想以上に発生、現場での「コミュニケーション」、現在も問題となっている失跡や不法賃金など、多くの課題も考えられ、安価な労働力、人材不足の解消ということで受入れを



特別講演の様子

## 公開講座

行っても、かえって事業所の経営を圧迫することになりかねない。各種データや事例を参考に、外国人労働者の受入れにあたっては、様々な観点からの検討が必要であり、また新たな研修制度の構築が今後必要になるとの提言をいただきました。

MS&ADインターリスク総研株式会社の本田茂樹特別研究員より、「介護人材の育成について」研修と「コミュニケーション」だけで大丈夫か」と題した講演をいただきました。

人材育成の方法には、業務を通して必要な技術や知識を習得させる「オンザジョブトレーニング」、集合研修や外部講師の講演会で行う「オフザジョブトレーニング」、それに「自己啓発」の3つの方法があり、それぞれに長短がある。それに「ティーチング」と「コーチング」という要素を加えていくべき。

ティーチングとはまさに「教えること」で、コーチングとは「教える側やその対象者が目指す方向に導くこと」であり、それは職員の中だけでなく、施設利用者やその家族に対しての対応にも重要な要素となる。コーチングでは、「傾聴」「意識的に耳を傾けて相手の言うことを聴く」「承認」「相手の存在や発言行動を認める」「質問」「閉ざされた質問と開かれた質問の使い分けで相手の意見を引き出す」という3つの要素(スキル)を高め、業務の難易度や対象者の能力に合わせて研修を進めていく。更に、何を言ったかでなく何が伝わったかをポイントにおいてコミュニケーションを深める。後輩を育てることは自分を育てるレベルアップになり、それが自分の身を守ることに繋がっていくことを、丁寧に分かり易く講演頂きました。



公開講座の様子

れ発表が行われ、質疑応答においても活発な意見交換が行われました。最後に各セッション毎の優秀演題が表彰され、各施設からの多数の参加に感謝して本大会を終了しました。



表彰の様子



演題発表の様子

## 演題発表

17施設26グループによる演題発表が行われました。それぞれの職場での取り組みや体験、そこから感じた事や今後の課題などを4つのセッションに分か

## 熊本県老人保健施設協会会長表彰



8名の受賞者のみなさん  
(受賞者のご挨拶はp12をご覧ください)

## 優秀演題

- セッション1  
清雅苑 作業療法士 中尾 亮太 様 入所中の外泊を通じた活動・参加への支援
- セッション2  
孔子の里 管理栄養士 河端 眞子 様 低栄養改善へのアプローチ  
～在宅支援を通して～
- セッション3  
白藤苑 介護福祉士 村田 英章 様 改訂版 転倒・転落アセスメントシートスコアの活用で  
転倒転落は減少した  
～超低床ベッドの有効性も含めて～
- セッション4  
聖ルカ苑 介護福祉士 吉田 梨恵 様 動き出しは当事者から  
～利用者主体の動きをサポートして～

テーマ

# 介護保険3施設における働き方改革

～チームアプローチに向けて～

少子高齢化が進むなか、現在の日本は介護に携わる専門職の人材不足は深刻な問題となつています。さらには、団塊の世代が70歳に突入するとその傾向は、より深刻で顕著な問題となると考えられます。その打開策として、「働き方改革」を掲げ、働く方一人ひとりがより将来への展望を持てるよう取り組みがなされています。

30年度からは新たな介護施設として「介護医療院」もでき地域包括として、どのような機能をはたし、介護3施設とどう今後関わっていくのか注視していく必要があります。

今回の研究大会では、これらの問題を協議し、それぞれの施設の将来のあるべき姿を考えていただける研究大会となりました。

「地域包括ケアシステムにおける介護医療院と介護保険3施設のかかわり方」と題して、熊本県健康福祉部長寿社会局高齢者支援課の唐戸直樹課長様より、現在の介護保険を取り巻く状況と課題について講演をいただきました。

講演の中でも、2025年に向けた医療介護制度の改革や、医療介護福祉サービスの生産性向上に向けてのマンパワー確保の課題への説明がなされました。

また、新しい介護医療院の3つの役割として「①QOLの維持向上を目的に医療と介護を提供②地域にニーズに合わせた機能分化③地域包括ケアシステムにおける位置づけ」と建物は同じでもそれぞれの役割で、考え方を考えていくことを考えてほしいと述べられました。

人材確保対策では、政策として介護人材の処遇改善の決定、中高年齢や外国人の活躍促進、介護ロボットの活用等関係省庁との連携での総合的な対策の検討や、今後の高齢者介護対策への政府全体の取り組みの報告もなされました。

私たちが直面する問題にも、つひつ丁寧な考えていく必要性を考えさせられました。



熊本県健康福祉部  
長寿社会局高齢者支援課  
課長  
唐戸直樹 様

## シンポジウム

### 排せつ、ターミナルケア、介護ロボット、栄養の取り組み事例から学ぶケアの質

4施設から4つのテーマで、熊本県老人福祉施設協議会会長の鴻江圭子様を座長として、事例報告を発表してもらいました。



座長 鴻江圭子 様

#### 1 排せつについて

医療法人坂梨会 阿蘇温泉病院 看護師 木村 恵 氏

患者の病状や日常パターンやチェックシートでの把握で、心により添ったケアを行うことで自力排せつを促すことができた。結果、精神的安定ができ日常生活の活性化につながった。

#### 2 ターミナルケアについて

特別養護老人ホーム 矢筈荘 施設長 松岡 聖子 氏

多職種連携のケア・家族とのコミュニケーション・職員教育・環境整備・医師との連携で穏やかな最期を迎えられるよう寄り添いながら看取りケアに努めています。

#### 3 介護ロボットについて

特別養護老人ホーム 桜の丘 施設長 宮崎 真樹子 氏

「眠りスキャン」を活用することで、入居者や職員の負担軽減、リスク管理等でケアの向上には効果的である。高額な導入コストは大きな課題。

#### 4 栄養について

介護老人保健施設白藤苑 栄養管理部 部長 田尻 誠子 氏

栄養ケアマネジメント、栄養スクリーニング・経口維持の状況と3つの取り組みを行っている。まだまだ問題や課題はあるが、自立した日常生活を長く維持できることを目的に努めている。



# 平成30年度 熊本県老人保健施設協会職員基礎研修会

平成30年12月4日(火)・5日(水)

本年度も、例年通り介護老人保健施設職員としての基礎的な事を学ぶ研修会を、2日間、にわたり各施設より54名の参加で開催されました。

1日目の冒頭には、「山田会長より」老健の歴史と将来のあり方と題して、環境の変化にともなう、高齢化社会にあるべき老人保健施設の理念や役割についてお話しいただきました。

2日間の研修会では、「ケアのあり方」「身体拘束虐待について」「生活リハビリテーションの視点」「チームケアについて」「摂食栄養管理について」役割や考え方を事例を盛り込み対応等の説明をいただきました。

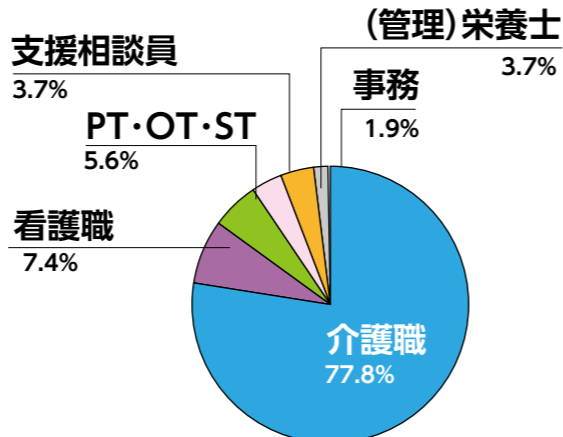
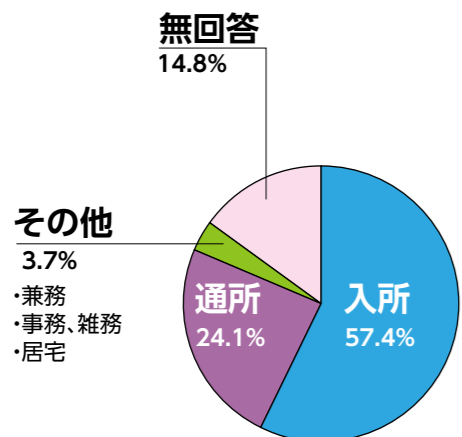
また、両日にはグループワークでそれぞれの意見交換を実施しました。今回の研修会で学んだことや考えたこと等、活発にグループで意見を出し合うてもらう発表していただきました。

ディスカッションでは、3施設から事例を用いた老健のケアについて報告がありました。事例とその対策を現場職員で取り組む事例は、日々私達が勤務するなかで参考になること、この研修会で学んだ事をしっかりと明日からの現場で活用していきたいと思っております。

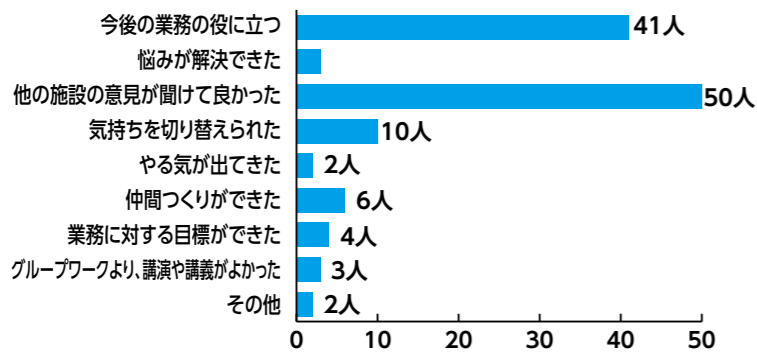


## 平成30年度 職員基礎研修会 参加者アンケート

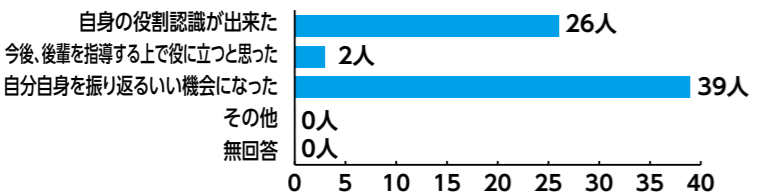
### 1 参加者の所属・職種



### 2 グループワークについて



### 3 2日間の研修を受講して



### 平成30年度「熊本県老人保健施設協会 職員基礎研修会」プログラム

平成30年12月4日(火)・5日(水) 会場: ホテルメルパルク熊本

期日	時間	講義内容	講師
12月4日(火)	9:00~9:30	受付	
	9:30~9:40	開会・会長挨拶	会長 山田 和彦
	9:40~10:50(70分)	「老健の歴史と将来のあり方」	熊本県老人保健施設協会 会長 山田 和彦
	10:50~11:00	休憩	
	11:00~12:30(90分)	講演「老人保健施設のケアのあり方」 — ケアに向き合う姿勢 —	(高知県) 山本 満壽子 先生
	12:30~13:30	昼食休憩	
	13:30~15:00(90分)	講演「身体拘束・虐待について」	介護老人保健施設 清雅苑 看護・介護部長 金森 直美 先生
12月5日(水)	15:00~15:10	休憩	
	15:10~16:30(80分)	グループワーク テーマ「1日目の研修を総えて」	進行: 介護老人保健施設 アメニティゆりん 通所「び」リハビリ課 主任 岩崎 宏治
	9:25~9:30	オリエンテーション	
	9:30~10:20(50分)	講義「生活リハビリテーションの視点」	介護老人保健施設 清雅苑 理学療法士 齋賀 賢一
	10:20~11:10(50分)	講義「チームケアについて」	介護老人保健施設 びび「びび」御薬園 統括管理部長 梅田 三智代
	11:10~11:20	休憩	
	11:20~12:20(60分)	講義「摂食・栄養管理について」	介護老人保健施設 白藤苑 栄養管理部長 田尻 誠子
12月5日(水)	12:20~13:20	昼食休憩	
	13:20~15:00(100分)	ディスカッション 「事例を用いた老健のケアについて考える」	介護老人保健施設 阿房宮 介護主任 佐伯 耕一 介護老人保健施設 あさひコート 施設課長・相談室室長 中嶋 健一 介護老人保健施設 びび「びび」御薬園 びび「びび」科主任 萩原 康平 進行: 介護老人保健施設なごみの里 事務長 西田 剛
	15:00~15:10	休憩	
	15:10~16:30(80分)	グループワーク テーマ「今回の研修についての質問やまとめ」 各グループからの発表 質疑・コメント	進行: 介護老人保健施設 梧棲苑 介護主任 田上 育美

※時間配分については、多少変更することもあり、時間調整により休憩時間が短縮される場合もあります。

### 研修会に参加して 感じた事・学んだ事

※部抜粋

「チームケア多職種間 コミュニケーションの重要性」

・事故がおきた後の他職種交際の話し合いが出来ていない等課題が見つかった。  
・老健の強みは、多職種の人がお互いの共有、迅速な対処が出来ることを学んだ。  
・チームケアの重要性を学んだ。  
・チームの大切さ、チーム連携の重要性を特に学んだ。

・自分の施設に戻った後、見直さなければならぬところが見えた。  
・PT・OTの方へなかなかコール対応やケアへの参加を直接要望できないが、担当利用者の方の課題や悩みを積極的に相談し、「コミュニケーションをとっていき、信頼関係から築いて」と思った。

「老健施設の歴史、成り立ち、意義、目標」  
・老健の変遷や歴史、理念など基本的なことがわかった。  
・サービス業であることを認識し、自分の言葉を改めて見直す機会になった。  
・これから在宅復帰を目標にリハビリ・生活リハビリ力を入れて他職種や家族・地域と協力しあっていかなければいけないと感じた。

・老健という施設で働くことにおいて、目標を明確にすることができた。  
「介護者本位ではなく、利用者本位へ、利用者との関係性へ」  
・無意識に介護者本位で利用者様に接したり介助を行っていると感じた。利用者の表情や言葉の裏にある気持ちを読み取り、利用者本位の介助を行っていくよう改めて行きたい。

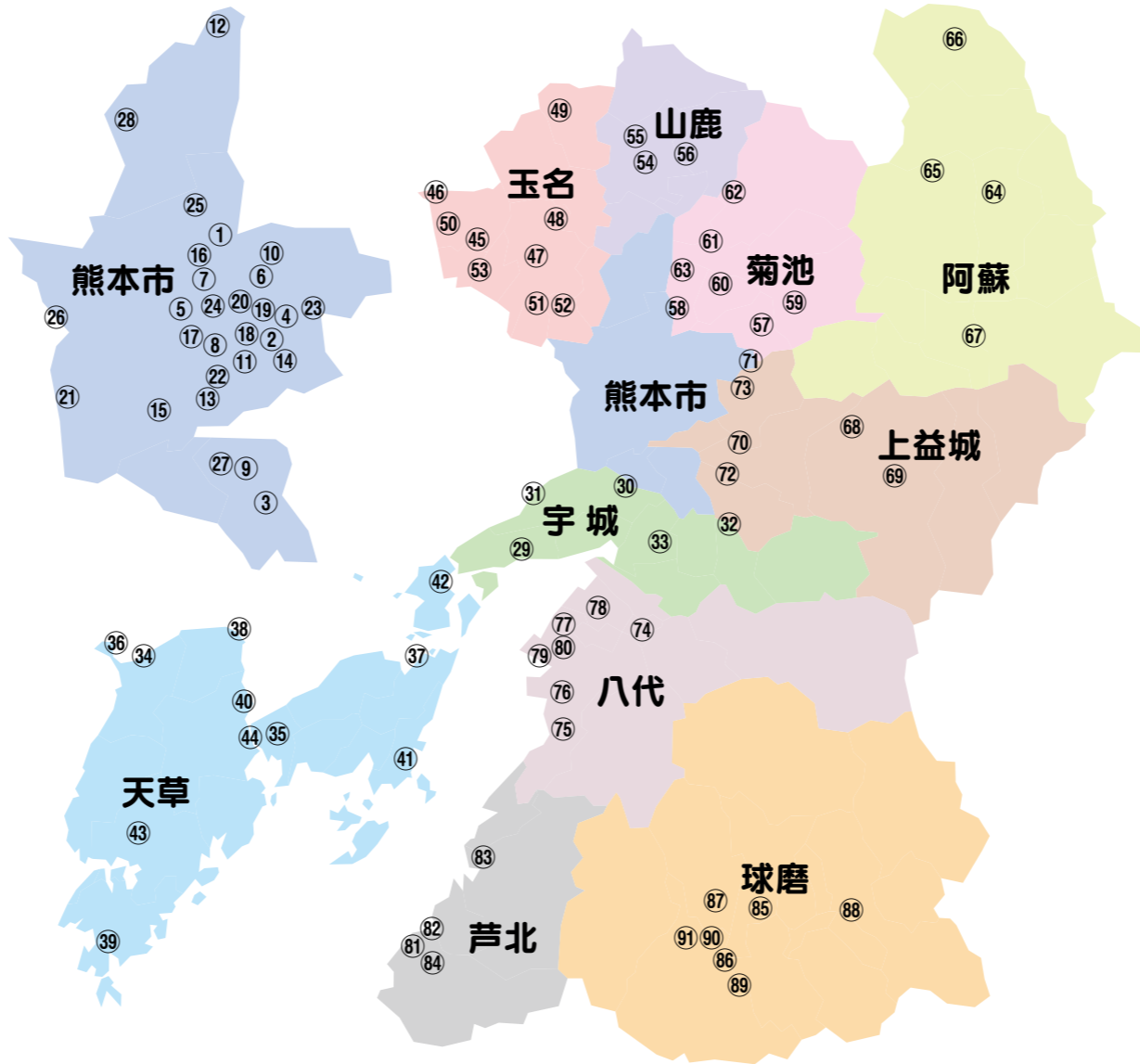
「虐待、身体拘束について」  
・金森直美先生からの虐待についてのお話を聞き、感情のコントロールと問題をチームで考えていく姿勢の大切さがあった。  
・「身体拘束、虐待」についてほんの小さな普段何気なくしていることも虐待になるのだということを知り、今後の自分の介護の仕方を見直すいい機会になった。

「グループワークについて」  
・表題がびびりしていた。  
・議題が詳しく書いてあるとよかったと思う。又は、運営側より1グループに1名配置したら円滑にすすめられたのではないかと。  
・ディスカッション方式だと身近に感じられ、その後のグループワークでも話しやすかった。他の施設での対応の仕方やコミュニケーションの場として有効だと感じた。

「摂食・栄養」  
・摂食・嚥下については実際介助してやったりの方が誤嚥になるのと改めて勉強になった。(実際にやってみると飲み込み、食べにくい事を学んだ)  
・摂食・嚥下についてのメカニズムもわかっていっただけになっていて、改めてその重要性を考えさせられた。

「その他」  
・職場の理念を改めて見直す事が出来て良かった。  
・ゴール設定について、3ヶ月を目標として達成できず継続してしまつてしまったため、再度達成しやすいゴールを立案していくと思った。

## 熊本県老人保健施設協会会員施設



- ①清雅苑 熊本市北区山室6丁目8-1 096-345-8112
- ②コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目3-12 096-384-8088
- ③桔梗苑 熊本市南区城南町沈目1481 0964-28-6811
- ④レ・ハビリス桜十字熊本東 熊本市東区三郎1丁目12-30 096-385-6262
- ⑤青翔苑 熊本市西区島崎2丁目21-10 096-359-5377
- ⑥阿房宮 熊本市北区龍田陳内1-3-20 096-337-1111
- ⑦杏の里 熊本市西区池田1丁目14-78 096-351-2788
- ⑧南楓苑 熊本市中央区南熊本2丁目11-1 096-371-5111
- ⑨光乃里 熊本市南区城南町今吉野972 0964-28-8000
- ⑩ぎんなんの里 熊本市北区楡木1丁目3-70 096-337-2700
- ⑪湧心苑 熊本市中央区出水4丁目15-30 096-371-4165
- ⑫ケアビレッジ箱根崎 熊本市北区植木町正清888 096-274-7700
- ⑬ぼたん園 熊本市南区御幸笛田6丁目8-1 096-370-1222
- ⑭第二コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目8-8 096-360-3111
- ⑮白藤苑 熊本市南区白藤5-1-1 096-358-7200
- ⑯みつぐ苑 熊本市北区貢町135 096-323-6123
- ⑰のぞみ 熊本市中央区本荘3丁目7-18 096-371-3399
- ⑱シルバーピア水前寺 熊本市中央区水前寺5丁目2-22 096-384-3399
- ⑲メディエイト鶴翔苑 熊本市東区保田窪本町10-112 096-387-8181
- ⑳フォレスト熊本 熊本市中央区渡鹿5丁目1-37 096-363-0101
- ㉑なすび園 熊本市西区沖新町3353 096-329-5666
- ㉒田迎ケアセンター 熊本市南区出仲間5丁目2-2 096-378-2223
- ㉓ケアセンター赤とんぼ 熊本市東区戸島西2丁目3番10号 096-331-3737
- ㉔なでしこ 熊本市中央区北千反畑町2-5 096-343-7450
- ㉕かなこぎ苑 熊本市北区硯川町768-1 096-275-2788
- ㉖葵の森 熊本市西区松尾町近津1480番地 096-311-4004
- ㉗ゆずりは 熊本市南区城南町高1099 0964-28-6311
- ㉘ひらた苑 熊本市北区植木町平原221 096-272-5486

- ㉙青海苑 宇城市三角町郡浦739-8 0964-54-1311
- ③⑩あさひコート 宇土市旭町106番地 0964-23-5211
- ③⑪景雅苑 宇土市上綱田町3676 0964-27-1708
- ③⑫なごみの里 下益城郡美里町堅志田192-1 0964-47-6011
- ③⑬松幸 宇城市松橋町西下郷544 0964-32-5516

- ③⑭慈恵苑 天草郡苓北町上津深江278-10 0969-37-1567
- ③⑮本渡ケア・ホーム 天草市下浦町2090-1 0969-24-3331
- ③⑯臥龍園 天草郡苓北町富岡3273番地2 0969-35-1530
- ③⑰松朗園 上天草市松島町今泉32-1 0969-56-3111
- ③⑱ブルーマリン天草 天草市五和町御領9133 0969-32-2112
- ③⑲ケアセンター鶴丸 天草市久玉町62-1 0969-72-6072
- ④④⑩天草中央総合病院附属 天草市東町101 0969-22-2111
- ④①きららの里 上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19 0969-62-1123
- ④②ほんごう苑 上天草市大矢野町登立8607 0964-56-5110
- ④③ケーナ・ガーデン 天草市河浦町河浦4778-3 0969-76-1808
- ④④夢織りの里天草 天草市楠浦町字掛場59番5 0969-22-8288

- ④⑤聖ルカ苑 玉名郡長洲町宮野2772-10 0968-78-5521
- ④⑥慈眼苑 荒尾市増永708-2 0968-64-1018
- ④⑦樹心台 玉名市伊倉北方272 0968-73-4165
- ④⑧ゆうきの里 玉名市上小田1063 0968-74-0666

- ④⑨清風苑 玉名郡和水町上板楠1697-1 0968-34-3700
- ④⑩平成ドリーム館 荒尾市水野1556 0968-68-7770
- ④⑪星雲荘 玉名市横島町横島3384 0968-84-3717
- ④⑫てんすい倶楽部 玉名市天水町部田見1214-15 0968-71-5600
- ④⑬幸 玉名市岱明町鍋1831 0968-57-5105

- ④⑭希望の園 山鹿市山鹿369 0968-44-2100
- ④⑮山鹿リハビリセンター 山鹿市熊入町313 0968-43-4370
- ④⑯太陽 山鹿市鹿本町津袋654-1 0968-46-6111

- ④⑰サンライズヒル 菊池郡菊陽町曲手760 096-232-5656
- ④⑱桜の里 合志市須屋702 096-343-8377
- ④⑲おおつかの郷 菊池郡大津町陣内1165 096-294-1500
- ④⑳ひらせ記念リハビリ苑 合志市福原3111 096-248-7100
- ④㉑孔子の里 菊池市泗水町福本904-1 0968-38-5666
- ④㉒リハビリセンターきくちの里 菊池市大琳寺123 0968-23-7721
- ④㉓有隣 合志市野々島字東原4414-17 096-242-5050

- ④㉔阿蘇グリーンヒル 阿蘇市一の宮町宮地121 0967-22-0500
- ④㉕愛・ライフ内牧 阿蘇市内牧1105-1 0967-32-5511
- ④㉖おぐに老人保健施設 阿蘇郡小国町大字宮原1742-1 0967-46-6111
- ④㉗リハセンターひばり 阿蘇郡南阿蘇村大字吉田2044-2 0967-64-8000

- ④㉘彩雲苑 上益城郡山都町北中島2701 0967-75-0222
- ④㉙ライフライト矢部 上益城郡山都町下市60 0967-72-1110
- ④㉚御船清流園 上益城郡御船町御船1062-1 096-282-1616
- ④㉛平成唯仁館 上益城郡益城町宮園字三の迫1139-1 096-286-0666
- ④㉜ナーシングケア緑風苑 上益城郡甲佐町白旗271 096-234-3788
- ④㉝ケアポート益城 上益城郡益城町安永1030 096-289-0777

- ④㉞八祥苑 八代市氷川町早尾132 0965-62-4818
- ④㉟ハピネスケア日南 八代市日奈久塩北町2922 0965-38-0700
- ④㊱向春苑 八代市大福寺町2411-1 0965-33-8660
- ④㊲アメニティゆうりん 八代市古閑浜町西塩浜3401 0965-33-8880
- ④㊳かがみ苑 八代市鏡町塩浜235 0965-30-4000
- ④㊴とまと 八代市郡築1番町180-1 0965-37-3737
- ④㊵皇寿園 八代市高島町4218 0965-33-5545

- ④㊶やすらぎ苑 水俣市浜4051 0966-63-8621
- ④㊷白梅の里 水俣市浜4098-18 0966-63-3888
- ④㊸新清苑 芦北郡芦北町大字芦北字塩屋田尻2727-1 0966-61-3055
- ④㊹溯上 水俣市塩浜2番19号 0966-63-6551

- ④㊺サンライフみのり 球磨郡相良村大字川辺1778 0966-35-0840
- ④㊻リバーサイド御薬園 人吉市七地町495 0966-22-6811
- ④㊼山江老人保健施設 球磨郡山江村大字山田字南永シ切1705 0966-24-9800
- ④㊽シルバーエイト 球磨郡多良木町大字多良木4210 0966-42-5288
- ④㊾タンポポ 人吉市下漆田町字後平1538 0966-25-1551
- ④㊿愛生 人吉市南泉田町89 0966-28-3586
- ⑤①もみの木 人吉市下林町232 0966-22-0200

●は平成30年度ブロック代表者施設です。

### 熊本市ブロック 25 かなこぎ苑

熊本県熊本市北区硯川町768-1  
TEL 096-275-2788 FAX 096-275-2588  
入所定員：60名 通所定員：40名

介護老人保健施設かなこぎ苑は、平成18年4月に熊本市北区硯川町に完全ユニット型個室の老健施設として開設させていただきました。

開設以来たくさんの方々の地域の方々や関係者のご協力のもと、今年4月に13年目を迎えます。

当施設は北部脳神経外科・神経内科を母体とし、特別養護老人ホームをはじめデイサービス、グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所などの関連施設があり施設退所後の支援体制も充実しており安心してご利用いただけます。

入所定員60名(ショートステイは空床利用)、通所リハビリテーション40名の施設規模で運営しています。自然光をふんだんに取り入れられる建築設計になっておりとても明るく家庭的な雰囲気の施設です。



入所棟は肥後六花の名を採り6つのユニットに分かれており利用者様ごとに本人の出来る範囲で役割を担っていただき、その人らしく生活できる環境づくりに積極的に取り組んでいます。食事は施設内で調理し、季節や行事に応じた提供をさせていただき、毎週日曜日に手作りパンの提供を行い好評を得ています。

皆様のお役に立ち喜んで頂ける、選ばれる施設づくりを目指し、職員一同努めてまいります。

### 熊本市ブロック 26 葵の森

熊本市西区松尾町近津1480  
TEL 096-311-4004 FAX 096-329-8700  
入所定員：59名 通所定員：20名



介護老人保健施設葵の森は、熊本市第一号のユニット型老健として、当時の制度上まったく新しい形の老健として開設されました。59室の個室の中には、ご夫婦での入居も可能となるよう、間仕切りを移動できる居室も設置しています。その立地は海と山々に挟まれてはいますが、有明海の夕焼けをのぞみ、季節には居室に吹き込む風の中に蜜柑の花が香るなど、「自然とともに生きている」実感のあるものとなっています。また法令順守宣言と身体拘束ゼロ宣言を行っており、開設以来身体拘束の実例はありません。ここでの生活は、ゆっくりと流れる施設の時間の中、ご希望に応じて音楽療法への参加やクラブ活動、レクリエーションで自由に過ごされています。さらに、在宅への復帰は目指すものの、長期にわたりご入所の方も多く、熊本県プライム企業の認定を受けていることから、職員も勤務年数が長いので、「なじみの関係」の中で穏やかに生活されています。

## 平成30年度 表彰受賞者ごあいさつ

### 厚生労働大臣表彰 なごみの里 事務長 西田 剛氏



この度は大変名誉な賞をいただきありがとうございます。  
これまで22年間、老健に関わって参りました。協会の活動では研修企画委員として平成26年の九州ブロック大会をはじめ、多くの研修企画に参加させていただきました。この度の受賞は、協会を通して出会えた多くの老健で働く仲間、先輩、後輩等に支えられてのことと心より感謝しております。  
今後も、この賞に恥じぬよう協会の発展に少しでも寄与できるよう精進して参ります。

### 全老健会長表彰

#### 阿房宮 介護職 主任 佐伯 耕一氏



この度は全国介護老人保健施設協会会長表彰という名誉ある賞を受賞できました事を、心より感謝申し上げます。私が一歩ずつではありますが成長できているのも、いつも導いて下さる平原施設長をはじめ上司、スタッフ全員のおかげだと思っております。これからも感謝の気持ちを忘れず、当施設のテーマでもある「安心と笑顔」を念頭に理念に沿ったケアを提供していきます。このような賞を頂き誠に有難うございました。

#### 白藤苑 栄養管理部 部長 田尻 誠子氏



この度は名誉ある賞を頂きまして、誠にありがとうございます。  
このように表彰を受けられたのは、松下理事長・松下施設長をはじめ、職員の皆様のご支援の賜物と大変感謝しております。また、県の老健協会の研修企画委員を担わせていただき、山田会長はじめ協会スタッフの皆様には日頃より大変お世話になっております。  
今後もご利用者の方々には、安心・安全で楽しい食事の提供と栄養管理に日々精進を重ねてまいります。

### 県老健会長表彰

#### 阿蘇グリーンヒル 支援相談員兼事務次長 吉良 敏幸氏

この度は、熊本県老人保健施設協会会長表彰を受賞いただき、誠にありがとうございます。今回の受賞に際しましては、施設長をはじめ、同僚、利用者や地域の方のご指導と、家族の支援があったことと感謝致しております。

これからも、新たな気持ちで、介護老人保健施設がより良い施設となるよう、又地域や職場、家族にとって必要とされる人間になるよう努力してまいります。今回は誠にありがとうございます。

#### やすらぎ苑 介護副科長 高田 知美氏

この度、熊本県老人保健施設協会の会長表彰を受賞するにあたり、心より厚く御礼申し上げます。

今回の受賞は、私だけの受賞ではなく開設以来私を支えて応援して頂いた上司、同僚、後輩職員の協力があればこそ受賞できたものであり、皆様方との喜びを分かち合いたいと思います。これからも介護の仕事に誇りとプロ意識を持って入所者の皆様が満足して頂けるよう介護業務に専念して参りたいと思います。ありがとうございました。

#### やすらぎ苑 介護副科長 鬼塚 礼子氏

この度、熊本県老人保健施設協会の会長表彰を受賞することができて、心より厚く御礼申し上げます。受賞に関して家族や職場の皆様から「よかったね」「おめでとう」と言われた時、介護の仕事が続けてきてよかったと痛感したところです。これからも入所者の皆様の為に満足して頂けるよう介護サービスの向上、1日も早く在宅復帰が出来るよう介護業務に頑張っ参ります。ありがとうございました。

#### やすらぎ苑 介護福祉士 出野 邦子氏

この度、熊本県老人保健施設協会の会長表彰を受賞することができましたことは喜びに耐えられません。介護業務に着いて20数年間よく頑張ってきたと痛感いたしております。この受賞の喜びは私一人のものではなく、職場全員のものだと思っております。これからも入所者の皆様方の笑顔と挨拶に応えていく為に入所者一人一人の立場になってより良い介護施設の充実と介護サービスの向上を目指して頑張っ参ります。ありがとうございました。

#### 孔子の里 リハビリ主任 岩崎 美和子氏

今回、熊本県老人保健施設協会会長表彰を頂戴し、深く感謝申し上げます。理学療法士として、介護老人保健施設に勤めて早22年が経ち、介護報酬の改正や時代の変化から、求められることも変化しているように感じますが、地域の中の施設として、ご利用者様の生活を直接的・間接的に支えていくことには変わりはないと思っています。まだまだ未熟者ですが、今回の表彰を受け、今まで以上に貢献できるよう邁進していきたいと思っております。

#### 孔子の里 理学療法士 村上 孝子氏

現在の職場に入職した頃は、老健の役割も十分に理解出来ていないままに働き始めたような気がします。未だに人と接する事が若干苦手ではありますが、周囲のスタッフに支えられ、また利用者の方々に温かく見守られながら今まで過ごしてこれた事に感謝したいと思います。

今回頂戴した賞を糧に、今後も微力ではありますが表立った活動は出来なくても、裏方でも自分らしく人の役に立てる存在であり続けたいと思っております。

#### リバーサイド御薬園 看護主任 三川 紀子氏

この度は熊本県介護老人保健施設協会会長表彰を頂きまことにありがとうございます。このような表彰を頂いたのも、老健でのやりがい、難しさ、楽しさなど、これまでご指導くださった先生方やスタッフの皆様のおかげだと思っております。

今後も看護師として施設、地域に貢献できるように努力していきたいと思っております。

#### リバーサイド御薬園 管理課主任 塩井 貴裕氏

この度は、熊本県老人保健施設協会会長表彰をいただきまして、誠にありがとうございます。この表彰をいただけましたのも、介護に携わって22年間を振り返ると上司、先輩をはじめ同僚のご指導、励ましをいただいたおかげだと心から感謝申し上げます。

今後も、自分の役割を果たし当施設並びに熊本老人保健施設協会が益々発展して行くよう決意を新たに努力してまいります。このたびは誠にありがとうございました。

## 八代ブロック 80 とまと

熊本県八代市郡築1番町180番地1  
TEL 0965-37-3737 FAX 0965-37-3717  
入所定員：100名 通所定員：60名



介護老人保健施設とまとは平成10年7月に50床で開設しました。当時はまだ痴呆という言葉が使われており、痴呆専門棟24床、痴呆加算床26床という体制でスタートいたしました。同一敷地内にある母体の八代病院が精神科専門病院であることから将来増加するであろう認知症の利用者の方々に対応できるようにとの思いがありました。

その後、平成20年6月に全室個室ユニット型老健51床を増築し、認知症専門棟24床、一般棟25床、全体で100床の施設となりました。



開設当初から「おとしよりとご家族の笑顔を支援します・家族と常に結ばれ、家族と目指す家庭復帰」のスローガンを掲げ、とまとの基本理念である・人生の先輩としての尊敬の念・利用される人の気持ちにたった親身なお世話・個々の生活環境の違いに対応するおしつけのないお世話を職員が心がけ、日々利用者の方々の生活・リハビリのお手伝いをさせていただいております。

## 宇城ブロック 32 なごみの里

熊本県下益城郡美里町堅志田192-1  
TEL 0964-47-6011 FAX 0964-47-6012  
入所定員：65名 通所定員：35名



なごみの里は下益城郡美里町の旧中央町中心部にあります。中央小学校と堅志田保育園に隣接し、緑豊かな自然と子供たちのにぎやかな声に囲まれています。

平成16年9月に開設し、ユニット型4ユニット40名、多床室1ユニット25名、定員65名の施設で、老健施設の理念である“在宅復帰を支援する”為のユニットケアに取り組んでおります。

在宅部門では個別対応に特化した通所リハビリや地域サロン事業にも取り組んでおり、地域に開かれた施設運営を心掛けております。



単独型の老健ですが、平成30年4月より甲佐町にある谷田病院が母体病院となり、強力なバックアップを得て、人員を含めた体制の充実を図っております。

今後も「ご利用者様のこれまでの人生を尊重し、より望ましい生活支援に努めます」という施設理念のもと、利用者の“望む暮らし”の継続に向けて施設全体で取り組んで参ります。

## 球磨ブロック 89 タンポポ

熊本県人吉市下漆田町1538  
TEL 0966-25-1551 FAX 0966-25-1552  
入所定員：80名 通所定員：60名



タンポポは平成10年に開設し、今年で20年を迎えます。場所は宮崎県に向かう国道沿いにあり、内装はオレンジを基調とした明るい3階建てです。

入所棟は2階フロアが一般療養棟、3階フロアが認知症専門棟の合計80床で、それぞれの専門性を生かしてリハビリと療養ができるようになっています。

1階にある通所リハビリテーションでは50名様のご利用ができ、レクリエーション・カラオケ・温泉大浴場等を楽しみながらリハビリをすることができます。

今後とも皆様の健康増進に貢献できますようスタッフ一同より一層の努力を重ねてまいります。



「本当の愛はタンポポの根のように強く美しい、そしてタンポポの種のように四方に幸せの輪を広げてゆく」坂村真民・詩

記念碑 念ずれば花ひらく



## 玉名ブロック 51 星雲荘

熊本県玉名市横島町横島3384  
TEL 0968-84-3717 FAX 0968-84-3766  
入所定員：63名 通所定員：40名



当施設は平成11年7月に開設し、今年で20周年を迎えます。

県北西部に位置し、イチゴやトマトのビニールハウスと田園風景の広がる、自然に恵まれた環境の中にあります。

施設は中庭を囲んで広い廊下と居室があり、開放的で家庭的な明るい雰囲気の中で家族や知人の方々の面会者も多くいらっしゃいます。

家庭復帰に向けたリハビリを実施し、在宅復帰後も母体診療所や在宅サービスと一体となり切れ目のないサービスを提供しています。また最期まで住み慣れた地域で安心して、過ごせるよう看取りケアにも取り組んでいます。

施設の基本理念である、「地域の皆様に愛され、開かれた施設」を目指し、「ご利用者の権利を尊重し、真心を込めたケア」を提供し、「高い知識と技術を身につけ、ご利用者の自立支援をサポート」することにより、これからも地域貢献に努めていきたいと思っております。





## 原稿募集

「ろうけん熊本」では紙面の充実の為、老健施設職員の皆様からの様々な情報、写真等を随時募集しております。

応募してもいいと思われる方は、このページを切り取るか、コピーなどで送信ください。簡単な内容をお知らせください。後日、広報委員からご連絡差し上げます。

### FAX送信票

<送信先> FAX 0966-26-3680 熊本県老人保健施設協会 事務局 広報委員 行

- |  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ペット自慢 ( )     |                                       |
| <input type="checkbox"/> 施設の活動について     | <input type="checkbox"/> うちのイケメン職員紹介  |
| <input type="checkbox"/> 行事の記事や写真      | <input type="checkbox"/> 施設の人気の料理メニュー |
| <input type="checkbox"/> 研修の感想         | <input type="checkbox"/> レクリエーション紹介   |
| <input type="checkbox"/> うちの地域の自慢や祭り紹介 | <input type="checkbox"/> 旅行記          |
| <input type="checkbox"/> その他 ( )       |                                       |

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

[施設名]

[お名前]

[ご連絡先] TEL

FAX

メールアドレス

※申し込み多数の場合は、ご連絡が遅くなる場合がございますのでご了承ください。

## 編集後記

【急募！広報委員】2019年度広報委員増員のため募集いたします。

採用条件：人が好き・施設が好き・老健が好き、そして伝えることが好き

期 間：2019年4月～2021年3月

仕事内容：「ろうけん熊本」編集・発送作業、熊本県老健大会参加、その他県老健を支えながら情報を発信していく。

ご連絡先：一般社団法人熊本県老人保健施設協会 事務局 (電話)0966-26-3681

備 考：広報委員を増員し「ろうけん熊本」を新しい角度から発信したい新しい委員を希望しています。

各事務長からの自薦他薦協力お願い致します。

これからの県老健の発信が有意義な形を作り上げましょう!

友田 誠一

広報委員 土肥 英樹(サンライフみのり) 岩尾 英憲(山鹿リハビリセンター)  
後藤 健(青海苑) 友田 誠一  
小代 みほ(事務局)

印刷:シモダ印刷株式会社